(1)

会派名	公明党
-----	-----

NO.	予算科目	事業名	担当分科会
3	一般会計	土地開発基金運用事務	総務分科会

1 項目別評価

_ 1 埧目別評価				
評価項目	目 ┃ 評価基準(該当右欄に○)		評価点	評価コメント
(1) 市民ニーズ	①きわめてニーズが高い(25点)			昭和45年に施行されているが当時
	②ニーズが高い(20点)			(地価の高騰)とは環境が変化して
<u>評価の視点</u>	③どちらかといえばニーズが高い(15点)			いるため必要ないと思われる。また、
今後もこの基金の必要性	④どちらかといえばニーズが低い(10点)		_	都市計画決定路線で中止になった
はあるか。	⑤ニーズが低い(5点)	0]	路線もあり必要性がなくなった
	⑥ニーズがない(0点)			
	①きわめて必要性が高い(25点)			路線の事業決定から取得することに
	②必要性が高い(20点)			より国等からの補助対象になる
	③どちらかといえば必要性が高い(15点)		5	
国等からの補助金の取得	④どちらかといえば必要性が低い(10点))	
のために基金が必要か	⑤必要性が低い(5点)	0		
	⑥必要性がない(0点)			
(3)費用に見合った効果	①きわめて効果的である(25点)			基金として当初3億5千万あり、16物
	②効果的である(20点)			件を取得してある。その内、山王下
	③どちらかといえば効果的である(15点)		5	南守谷線用地12物件は、都市計画
	④どちらかといえば効果的でない(10点)		J	変更により中止となり、取得価格1億
眠ってはいないか。	⑤効果が少ない(5点)	0		1千7百万円分が中に浮く形になっ ている
	⑥効果がない(0点)			
	①きわめて成果がある(25点)			都市計画決定に基づいて基金から
11	②成果がある(20点)			土地を購入しているが、現在は事業
11	③どちらかといえば成果がある(15点)			計画されているものはなく、逆に都
11	④どちらかといえば成果がない(10点)		J	市計画変更による中止路線があり、 無駄になっている
いて基金が使われいるか。	1	0]	
	⑥成果がない(0点)			

2 全体評価

評価	評価基準	合計評価点
2	6 きわめて良好である 100点 5 良好である 76~99点 4 おおむね適正である 51~75点 3 問題がある 26~50点	20
	2 かなり問題がある 1~25点 1 不適正である 0点	
I	一 17 個上 このる	

理由

45年も前の制度であり、当時は年々地価高騰が激しく路線についても何路線も計画していたが、現在は、路線の事業化も少なくなり、基金の目的は達せられた。また、事業化前なので土地取得を積極的に行うわけでもない。これからは、路線の事業化が具体化されてから土地取得をするようにし、土地開発基金は運用事務を廃止すべき。

事前評価レーダーチャート



課題と反省		

(1)

会派名	市民クラブ維新会
-----	----------

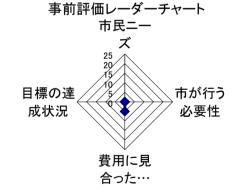
NO.	予算科目	事業名	担当分科会
3	一般会計	土地開発基金運用事務	総務分科会

1 項目別評価

_ 【				
評価項目	評価基準(該当右欄に〇)		評価点	評価コメント
(1) 市民ニーズ	①きわめてニーズが高い(25点)			今後計画される都市計画道路など
	②ニーズが高い(20点)			減ってきていることから、必要性を感
<u>評価の視点</u>	③どちらかといえばニーズが高い(15点)		0	じられない時代になっている。
今後もこの基金の必要性	④どちらかといえばニーズが低い(10点)		U	
はあるか。	⑤ニーズが低い(5点)			
	⑥ニーズがない(0点)	0		
(2) 市が行う必要性	①きわめて必要性が高い(25点)			成熟期に入っており, これ以上のイ
	②必要性が高い(20点)			ンフラは不要だろう。また、議会の議
<u>評価の視点</u>	③どちらかといえば必要性が高い(15点)		0	決も必要だろう。
国等からの補助金の取得	④どちらかといえば必要性が低い(10点)		U	
のために基金が必要か	⑤必要性が低い(5点)			
一代替案はないか。	⑥必要性がない(0点)	0		
(3) 費用に見合った効果	①きわめて効果的である(25点)			地価が高い時に購入したものもあっ
	②効果的である(20点)			たり、その上、その計画道路が白紙
<u>評価の視点</u>	③どちらかといえば効果的である(15点)		5	になったりしている今,資産が眠るか
現金と土地を含めた資産が	④どちらかといえば効果的でない(10点)		J	たちになっている。
眠ってはいないか。	⑤効果が少ない(5点)	0		
	⑥効果がない(0点)			
(4)目標の達成状況	①きわめて成果がある(25点)			当時計画があったことは確かであ
	②成果がある(20点)			る。
<u>評価の視点</u>	③どちらかといえば成果がある(15点)		0	
	④どちらかといえば成果がない(10点)		0	
いて基金が使われいるか。	.			
	⑥成果がない(0点)	0		

2 全体評価

評価	評価基準	合計評価点
	6 きわめて良好である 100点	Į.
	5 良好である 76~9	9点
2	4 おおむね適正である 51~7	5点
_	3 問題がある 26~5	0点
	2 かなり問題がある 1~2	5点
	1 不適正である 0点	



理 由

これからの守谷市においては不要と思うが、将来やはり必要だと なったときに再起動ができるようにしておくことも必要だろう。

課題と反省

この基金を廃止している自治体もある。眠っている資産の活用は?

(1)

会派名	日本共産党
-----	-------

NC	D.	予算科目	事業名	担当分科会
3		一般会計	土地開発基金運用事務	総務分科会

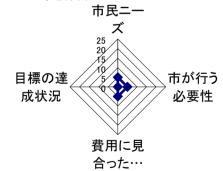
1 項目別評価

1 填目別評価					
評価項目	評価基準(該当右欄に〇)		評価点	評価コメント	
(1)市民ニーズ	①きわめてニーズが高い(25点)			この基金に疑問と疑いを感じる。廃	
	②ニーズが高い(20点)			止をする。	
<u>評価の視点</u>	③どちらかといえばニーズが高い(15点)		5		
今後もこの基金の必要性	④どちらかといえばニーズが低い(10点)		J		
はあるか。	⑤ニーズが低い(5点)	0			
	⑥ニーズがない(0点)				
(2) 市が行う必要性	①きわめて必要性が高い(25点)			道路用地と取得したものの土地活用	
	②必要性が高い(20点)			が全然ない。	
<u>評価の視点</u>	③どちらかといえば必要性が高い(15点)		5		
国等からの補助金の取得	④どちらかといえば必要性が低い(10点)		J		
のために基金が必要か	⑤必要性が低い(5点)	0			
	⑥必要性がない(0点)				
(3)費用に見合った効果	①きわめて効果的である(25点)			土地の評価が出来ないものを基金	
	②効果的である(20点)			に入っていないのがおかしい。	
<u>評価の視点</u>	③どちらかといえば効果的である(15点)		5		
現金と土地を含めた資産が	④どちらかといえば効果的でない(10点)		5		
眠ってはいないか。	⑤効果が少ない(5点)	0			
	⑥効果がない(0点)				
(4) 目標の達成状況	①きわめて成果がある(25点)			道路計画も廃止の方針と聞いた時	
	②成果がある(20点)			点で基金に入れておく理由なし。	
評価の視点	③どちらかといえば成果がある(15点)		0		
具体的な建設計画に基づ	④どちらかといえば成果がない(10点)		U		
いて基金が使われいるか。	⑤成果が少ない(5点)				
	⑥成果がない(0点)	0			

2 全体評価

評価	評価基準	合計評価点
	6 きわめて良好である 100点	
	5 良好である 76~99点 4 おおむね適正である 51~75点	4 =
2	3 問題がある 26~50点	15
	2 かなり問題がある 1~25点	
	1 不適正である 0点	

事前評価レーダーチャート ホヌニー



тш	_
+	

- ①基金に流動する物(不動産)を計上しているが理解できず
- ②売却した時に損失が出た場合どうするのか。

課題と反省

(1)

会派名 みんなの	会
----------	---

NO.	予算科目	事業名	担当分科会
3	一般会計	土地開発基金運用事務	総務分科会

1 項目別評価

_ 1 垻目別評価				
評価項目	評価基準(該当右欄に〇)		評価点	評価コメント
(1)市民ニーズ	①きわめてニーズが高い(25点)			守谷市内において今後土地開発基
	②ニーズが高い(20点)			金を使用して用地を取得する必要性
<u>評価の視点</u>	③どちらかといえばニーズが高い(15点)		5	や、透明性に疑問がある。
今後もこの基金の必要性	④どちらかといえばニーズが低い(10点)		J	
はあるか。	⑤ニーズが低い(5点)	0		
	⑥ニーズがない(0点)			
(2) 市が行う必要性	①きわめて必要性が高い(25点)			土地の取得においては、しっかりとし
	②必要性が高い(20点)			た事業決定を経てから取得すべきで
<u>評価の視点</u>	③どちらかといえば必要性が高い(15点)		5	あると考える。
国等からの補助金の取得	④どちらかといえば必要性が低い(10点)		5	
のために基金が必要か	⑤必要性が低い(5点)	0		
	⑥必要性がない(0点)			
(3)費用に見合った効果	①きわめて効果的である(25点)			基金の運用により購入した土地等の
	②効果的である(20点)			資産が計画廃止となった場合、負の
<u>評価の視点</u>	③どちらかといえば効果的である(15点)		5	財産になりかねない。
現金と土地を含めた資産が	④どちらかといえば効果的でない(10点)		5	
眠ってはいないか。	⑤効果が少ない(5点)	0		
	⑥効果がない(0点)			
(4) 目標の達成状況	①きわめて成果がある(25点)			守谷市内の現状を見ても、基金の使
	②成果がある(20点)			われ方が適正であったとは言えない
評価の視点	③どちらかといえば成果がある(15点)		5	状況であると考えられる。
	④どちらかといえば成果がない(10点)		5	
いて基金が使われいるか。	⑤成果が少ない(5点)	0		
	⑥成果がない(0点)			

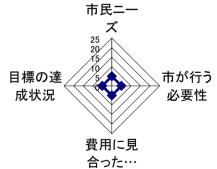
2 全体評価

評価	評価基準	合計評価点
	6 きわめて良好である 100点	
	5 良好である 76~99点	
2	4 おおむね適正である 51~75点	20
_	3 問題がある 26~50点	20
	2 かなり問題がある 1~25点	
	1 不適正である 0点	

理 由

補助金がおりるかどうかの問題もあると考えるが、市民の皆様の税金を使うという観点からすると、計画決定による土地等の取得ではく、事業決定後の取得の方が無駄もなく、税金の有効活用となると考える。補助金との関係性も含め、基金ではない運用の方法を検討すべき。

事前評価レーダーチャート



課題と反省

計画廃止となった場合、土地開発基 金により市が持っている財産の処分 をどうしていくのかが問題と考えられ る。

(1)

会派名	もりや清流会
-----	--------

NO.	予算科目	事業名	担当分科会
3	一般会計	土地開発基金運用事務	総務分科会

1 項目別評価

_ Ⅰ 垻日別評価				
評価項目	評価基準(該当右欄に〇)		評価点	
(1) 市民ニーズ	①きわめてニーズが高い(25点)			市民にとって基金の存在する知らな
	②ニーズが高い(20点)			いと思うので、市民にとって必要性
<u>評価の視点</u>	③どちらかといえばニーズが高い(15点)		0	はない。
	④どちらかといえばニーズが低い(10点)		0	
はあるか。	⑤ニーズが低い(5点)			
	⑥二一ズがない(0点)	0		
(2) 市が行う必要性	①きわめて必要性が高い(25点)			補助金取得のために"基金"の必要性が
	②必要性が高い(20点)			MUSTとは思われない。土地価格が大幅 に上昇しているとか、守谷市内の土地開
評価の視点	③どちらかといえば必要性が高い(15点)		10	発が活発に行われているという時期は、
	④どちらかといえば必要性が低い(10点)		10	必要性があるのかもしれないが、現在
II I	⑤必要性が低い(5点)	0		のように落ち着いている時期にはその
	⑥必要性がない(0点)			必要性は少ない。
(3) 費用に見合った効果	①きわめて効果的である(25点)			当該基金には、現金と土地という形で資
	②効果的である(20点)			産があるが、有効活用が行われている とは思われない。特に土地に関しては、
	③どちらかといえば効果的である(15点)		5	計画が中止になった道路用の"含み損"
	④どちらかといえば効果的でない(10点)		J	を抱える土地も含まれており、管理がず
眠ってはいないか。	⑤効果が少ない(5点)	0		さんと指摘されても仕方がない状況にあ
	⑥効果がない(0点)			る。
(4)目標の達成状況	①きわめて成果がある(25点)			道路建設と基金を使用しての土地取
	②成果がある(20点)			得の時期がズレており、土地価格が
評価の視点	③どちらかといえば成果がある(15点)		5	下落した場合には、含み損を基金内におっていた。
具体的な建設計画に基づ	④どちらかといえば成果がない(10点)		٦	に抱えることになり大きなリスクがあ
いて基金が使われいるか。		0		る。
	⑥成果がない(0点)			

2 全体評価

評価	評価基準	合計評価点
	6 きわめて良好である 100点	
	5 良好である 76~99点	
2	4 おおむね適正である 51~75点	20
	3 問題がある 26~50点	20
	2 かなり問題がある 1~25点	
	1 不適正である 0点	

理中

バブル期のように、土地開発が活発に行われ、土地価格が上昇している時期には、迅速に手当てを行うことが必要になり、多くの自治体が基金を創設したものと思われる。しかし現在のように、特に土地価格が落ち着き、あるいは下落してくると、含み損を抱えるリスクが増え、自治体が行う方策としては得策とは思われない。

事前評価レーダーチャート



課題と反省	

1

会派名も	りや未来
------	------

NO.	予算科目	事業名	担当分科会
3	一般会計	土地開発基金運用事務	総務分科会

1 項目別評価

_ 1 項目別評価				
評価項目			評価点	評価コメント
(1)市民ニーズ	①きわめてニーズが高い(25点)			用地の取得で透明性が図れない。
	②ニーズが高い(20点)			
<u>評価の視点</u>	③どちらかといえばニーズが高い(15点)		5	
今後もこの基金の必要性	④どちらかといえばニーズが低い(10点)		5	
はあるか。	⑤ニーズが低い(5点)	0		
	⑥二一ズがない(0点)			
(2) 市が行う必要性	①きわめて必要性が高い(25点)			事業決定してから土地を購入すべ
	②必要性が高い(20点)			き。
<u>評価の視点</u>	③どちらかといえば必要性が高い(15点)		5	
国等からの補助金の取得	④どちらかといえば必要性が低い(10点)		5	
のために基金が必要か	⑤必要性が低い(5点)	0		
	⑥必要性がない(0点)			
(3)費用に見合った効果	①きわめて効果的である(25点)			計画廃止になった路線の購入した土
	②効果的である(20点)			地が無駄になった。
<u>評価の視点</u>	③どちらかといえば効果的である(15点)		5	
現金と土地を含めた資産が	④どちらかといえば効果的でない(10点)		5	
眠ってはいないか。	⑤効果が少ない(5点)	0		
	⑥効果がない(0点)			
(4)目標の達成状況	①きわめて成果がある(25点)			計画決定だけで購入しており、無駄
	②成果がある(20点)			が生じている。
評価の視点	③どちらかといえば成果がある(15点)		5	
具体的な建設計画に基づ	④どちらかといえば成果がない(10点)		J	
いて基金が使われいるか。	⑤成果が少ない(5点)	0		
	⑥成果がない(0点)			

2 全体評価

評価	評価基準	合計評価点
	6 きわめて良好である 100点	
	5 良好である 76~99点	
2	4 おおむね適正である 51~75点	20
	3 問題がある 26~50点	20
	2 かなり問題がある 1~25点	
	1 不適正である 0点	

理由

市民の貴重な税金が無駄になっており事業計画後の取得でも補助金が出るのであれば廃止して税金を有効活用すべきである。

事前評価レーダーチャート



課題と反省

計画廃止となり購入した土地の処分をどのように行うか今後の課題である。

(1)

会派名	結いの会
-----	------

NO.	予算科目	事業名	担当分科会
3	一般会計	土地開発基金運用事務	総務分科会

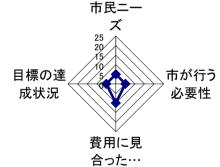
1 項目別評価

_ 1 項目別評価				
評価項目			評価点	評価コメント
(1)市民ニーズ	①きわめてニーズが高い(25点)			総じて土地の価格が上昇し続ける時
	②ニーズが高い(20点)			代には、大きなメリットがあった制度
<u>評価の視点</u>	③どちらかといえばニーズが高い(15点)		5	に感じる。
今後もこの基金の必要性	④どちらかといえばニーズが低い(10点)		J	
はあるか。	⑤ニーズが低い(5点)	0		
	⑥二一ズがない(0点)			
(2) 市が行う必要性	①きわめて必要性が高い(25点)			実際に基金を廃止している自治体も
	②必要性が高い(20点)			出始めており、基金廃止の上での補
<u>評価の視点</u>	③どちらかといえば必要性が高い(15点)		5	助金取得の可能性はあるのではな
国等からの補助金の取得	④どちらかといえば必要性が低い(10点)		J	いか。
のために基金が必要か	⑤必要性が低い(5点)	0		
	⑥必要性がない(0点)			
(3)費用に見合った効果	①きわめて効果的である(25点)			長期間動かない資産もみられる。
	②効果的である(20点)			
<u>評価の視点</u>	③どちらかといえば効果的である(15点)		10	
現金と土地を含めた資産が	④どちらかといえば効果的でない(10点)	0	10	
眠ってはいないか。	⑤効果が少ない(5点)			
	⑥効果がない(0点)			
(4)目標の達成状況	①きわめて成果がある(25点)			用地の先行取得をしたものの、道路
	②成果がある(20点)			建設計画がのちに廃止になった事
評価の視点	③どちらかといえば成果がある(15点)		5	例がみられる。
11	④どちらかといえば成果がない(10点)		J	
いて基金が使われいるか。	⑤成果が少ない(5点)	0		
し ノ	⑥成果がない(0点)	[

2 全体評価

評価	評価基準	合計評価点
	6 きわめて良好である 100点	
	5 良好である 76~99点	
2	4 おおむね適正である 51~75点	25
	3 問題がある 26~50点	23
	2 かなり問題がある 1~25点	
	1 不適正である 0点	

事前評価レーダーチャート 市民ニー



理 由

先行取得のメリットは、土地の値段が上がり続ける前提にあっては 意義は大きいが、現在はそのような状況にない。

また、基金を前提にしなければ国からの補助金が得られないという視点もあるが、実際に基金を廃止している自治体もあり、代替案 はあるように思える。

総じて、議会の議決を省いてまでして、先行取得を強調する意義 は薄く、廃止を検討すべきである。

- =⊞	四日	7	小
一市木	正县 (- 12	18